

平成22年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：農業用廃プラスチック排出抑制事業

事業実施予定期間：平成22年度から平成23年度

担当課室名：農産園芸環境課

担当班名 環境対策班 TEL:022-211-2845

e-mail: noenkantais@pref.miyagi.jp

1 事業の目的

生分解性のマルチや育苗ポット、中長期展張フィルム等を普及させることにより、農業用廃プラスチックの排出抑制を図るとともに、協議会や研修会等の開催等により適正処理に関する普及啓発を行い、リサイクルの促進、回収強化を図るもの。

2 当該年度の実施事業の概要

農業用廃プラスチック排出抑制を目的に、生分解性のマルチや中長期展張フィルム等の利用実証・普及を図るため、排出抑制になる資材購入に要する経費の一部を補助した。また、サトイモに関する生分解性マルチ栽培の実証を農業・園芸総合研究所で実施し、現地検討会（参加人数：35名）を実施し、新しい土地利用型品目の可能性を検討した。さらに、県適正処理推進協議会及び研修会（参加人数：22名）を開催した。

補助事業

補助対象者	補助内容	補助金額（千円）	備考
下新田上集落営農組合	生分解性マルチ	54	補助額
JAみどりの農業用プラスチック適正処理推進協議会	生分解性マルチ	24	同規格の慣行資材価格との
柴田町花卉生産組合	中長期展張フィルム	79	差額
柴田鉢花研究会	中長期展張フィルム	69	
		226	

3 当該年度の実施事業の成果

排出抑制になる資材等の導入による排出量の減少や組織回収強化による回収率の増加が認められた。

4 今後の展開

生分解性資材の導入については、まだ普及が不十分と考えられるため、今後も排出量抑制を中心に事業を展開する（ただし、平成23年度は休止）。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

<指標名：農業用廃プラスチック排出量>

単位：トン

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
2,252	1,891	875	849

<指標名：農業用廃プラスチック回収率>

単位：%

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
41	44	91	93

6 事業費の推移

単位：千円

平成22年度
851